

悪柱庵の退治策

内々調査を進め

平署管内四町十八ヶ村の人
事周旋業者は現在三十一名
あるが之等業者の去月中
に於ける周旋人員は男二十
三名女廿四名合計四十七名
で業者一名の周旋

平均人員 は僅に一
人半に過ぎない更に周旋先
の内譯を見れば酌婦十三名
商業十名工業八名藝妓三名
其他で一人當りの周旋数を
見ると誠に少いものと思は
れるが周旋屋の門を潜るも
のは皆前借の希望者で前借
高につき本人と

雇主から 各五分つ
合計一割の手取料を取れ
るのだからその収入に至つ
ては殆ど素人の想像にも及
ばぬ程豪勢なものでその生
活状態などもなか／＼の贅

平署で黒表を作成
をつくしたものである石城
郡地方は五萬の従業員を抱
擁する常磐炭田と年産額
百萬圓と 稱せらる

濱の關係からそうした階
級の異動はげしく随つて周
旋屋の仕事も年々増加する
ばかりで中には無免許の不
良柱庵などが炭礦邊りの婦
女子を誘拐し醜業婦等に賣
飛ばし無智な女の生血を吸
ると云ふやうなものもあるが
更に

免許を得 てゐる者
の中にも斯うした周旋屋も
まゝあるので當局では時漸
く家出人など増加する季節
に近づきあるに鑑みこの種
悪周旋屋に對して嚴重取締
をなすべく内々調査中であ
ると

左記諸氏を指定して近日中
に種子の無償交付をなすこ
とになつた

炭礦への要求を

断念した内郷村

まづ溜池を築造して
百年の大計を確立

石城郡内郷村では灌がい水
に困り磐城炭礦その他で排
水した白水川の流水を灌が
いしてゐるためしばしば鐵
毒問題が持ち上る結果多少
の犠牲を拂つても炭礦へ要
求することを断念し同村百
年の大計を確立する事とな
りまづ第一着手として一大
溜池を築造し干天に備ふる
こととなつたが鐵毒問題を始
め飲料水の枯渇、耕地山林
の龜裂、陰没等の被害に對
しては炭礦に向つて補償の
途を與へらるゝやう協定を
遂げたいと腐心してゐる

石城郡農會山田清次郎、
山田村鈴木一郎、平町鈴
木惣五郎、大浦村根本忠
平

非常な下落

卅五錢を往來

石城郡南部方面の田人、入
遠野を中心とする各村は古
くより蕪蕪の栽培地として
知られてゐるが取引相場は
一貫匁三十五錢内外を往來
し昨年の最低五十錢最高七
十錢に比して非常なる下落
である、尙荒粉物は四十五
貫入が百圓臺で昨年の二百
圓に比し半値を踏んでゐる
有様であるが出廻り期に入
ば稍平調を保つものともみ
られてゐる

平 鐵道警察

打越助役任命

鐵道助役勤務の變更に伴ひ
常磐線平驛に鐵道司法警察
吏の増員にいよ／＼本省よ
り認可があつたので同驛助
役打越俊氏が本日正式の司
法警察吏任命があつた

酒井部長出發

平署 から猪苗代署に轉じた酒井

高等部長は廿日午前九時廿
五分平驛發平郡線にて赴任
の途に着くと

馬の飼料として

燕麥青刈りに着目

石城郡の篤農者が試作

石城郡産馬業者は何れも馬
の好飼料について大部研究
して居るが縣當局でも種々
考究の結果燕麥青
刈に着目しその優良なるを
認めたので今回その試験を
各地で行ふことになつた、
その方法は農業者が廣大な
面積の水田を半年の間は
何等の利用策をも講ぜずに
放任して置くのは非常に不

水田に 播種し田植

前である四月頃迄には適宜
青刈として馬の飼料とする
もので縣としては斯うした
計畫は最初のことである處
から先づ篤農家をして試作
せしめ漸次近隣に及ぼさし
むることになり石城郡では

石城醸友會

杜氏組合と共に

石城郡醸友會では來る廿三
日午後一時から平稅務署樓
上で總會を開き會長佐原久



家庭庭欄

冬の化粧法

冬は皮膚が荒れますから洗
顔から氣をつけて、脂肪を
落とすぬやう洗粉を練でそつ
と洗ひます。毎日寝る時は

平驛がそろく

年末の輸送計畫

鹽鮭やミカンもボツ

霜月も半を超していよ／＼
師走の風があはたどしく吹
いて來ると鐵道ではそろ
／＼年末年始の輸送計畫に
取りかゝる不景氣とは云ふ
ても相當荷動きがある平驛
の貨物掛の談に依ると「來
る廿四五日頃から十二月の
中旬迄は 糯米や粳
の輸送が忙しくなる事と思
ひます鹽鮭や蜜柑もボツ
／＼輸入されては來たもの
／＼十二月に入つてからでな
くては取り上げて申す程で

奪取され てゐる様

はありませせん貨車が秋刀魚
と石炭の輸送に
な譯で實際に忙しくなるの
は來月に入つてからでせう
」云々

冬玩具類

玩具も 近頃だ
／＼ 實用向
／＼ 實用向
／＼ 實用向

動物人形

が、ある、
これは手袋—野球のグロ
ーヴのやうな三本指の手袋
で中央の指には動物の頭他
の二本が動物の手になつて
ゐるのである、これを手に
さして指を動かすと猫なら
は恰も朝起きて顔なめぶり
をするが如く犬ならちんち
んでもしてゐるやうである
それが眞に迫つてゐるので

仲々面白

い、動物
は犬猫を初めとして猿熊等
であるが毛の深いモヘア製

實用的な 趣向で、

矢張りモヘア製の小型な動
物類の人形を香水入れに利
用されてゐる、即ち首ツ玉
の所を引き抜くと瓶の口が
現れ小さな噴霧器で香水を
吹き付けるやうな仕掛であ
る。これにも犬や猫等可愛
い動物の人形が多い。之は
小卓の

飾りごし

ても色彩
が美しくしてよい恰好であ
る。モヘア製の温かい感じ

寫實味を 見せ、目

玉には剝製に用ゐるやうな
ガラスビーズを使用されて
ゐるので眞に迫つてゐる

平町人事

(平町森下商店談)
▲出生
△四丁目九松本真雄氏二女女子
△鷹匠町一五田中龍一氏長女女子
△新川町二八篠山一平氏二女ひま